

た か は ぎ

2020.5
No.159

議会だより

令和2年第1回定例会

会期 3月6日～3月25日

議案……………	2
議案質疑……………	4
委員会審査報告……………	5
市政に対する一般質問……………	7

撮影地 高萩市高萩

令和2年第1回定例会に提出された議案等

事件番号	件 名	内 容	審議結果
報 告 第 1 号	専決処分の承認を求めることについて(令和元年度高萩市一般会計補正予算(第6号))	歳入歳出予算に、1億7,554万9千円を追加したもの。道路災害復旧費等。	原案可決 (全員賛成)
報 告 第 2 号	専決処分の承認を求めることについて(損害賠償の額の決定及び和解について)	市有地からの倒木により走行中に損害を与えた車両への賠償。	原案可決 (全員賛成)
報 告 第 3 号	専決処分の報告について(損害賠償の額の決定及び和解について)	市道路肩陥没により走行中に損害を与えた車両への賠償。	—
議 案 第 1 号	高萩市固定資産評価審査委員会の委員の選任について	田中勝氏が任期満了となるため、再任について、議会の同意を求めるもの。	原案同意 (全員賛成)
議 案 第 2 号	高萩市固定資産評価審査委員会の委員の選任について	任期満了に伴う後任委員に、大武時男氏を選任することについて同意を求めるもの。	原案同意 (全員賛成)
議 案 第 3 号	人権擁護委員の候補者の推薦について	蛭田隆久氏が任期満了となるため、再任について、議会の意見を求めるもの。	原案同意 (全員賛成)
議 案 第 4 号	令和元年度高萩市一般会計補正予算(第7号)	歳入歳出それぞれに9,883万6千円を追加するもの。地域振興基金の積立増等の補正。	原案可決 (全員賛成)
議 案 第 5 号	令和元年度高萩市国民健康保険事業特別会計補正予算(第3号)	歳入歳出それぞれに4,045万3千円を追加するもの。支払準備基金積立金の増等。	原案可決 (全員賛成)
議 案 第 6 号	令和元年度高萩市介護保険事業特別会計補正予算(第4号)	歳入歳出それぞれに298万2千円を追加するもの。介護給付費準備基金積立金の増等。	原案可決 (全員賛成)
議 案 第 7 号	令和元年度高萩市霊園事業特別会計補正予算(第1号)	歳入歳出それぞれに1,323万5千円を追加するもの。霊園管理基金積立金の増。	原案可決 (全員賛成)
議 案 第 8 号	令和元年度高萩市水道事業会計補正予算(第3号)	収益的収入に27万6千円を追加するもの。県外被災地への応援に要した費用の一般会計からの受入。	原案可決 (全員賛成)
議 案 第 9 号	高萩市職員採用試験委員会条例の制定について	地方公務員法等の一部改正に伴い、規則で定めていた職員採用試験委員会について条例化するもの。	原案可決 (賛成多数)
議 案 第10号	高萩市交通安全対策事業基金条例の制定について	高齢者運転免許自主返納事業等に必要な財源を確保し、交通安全対策事業を円滑、効率的に実施するため基金を創設するもの。	原案可決 (全員賛成)
議 案 第11号	高萩市監査委員条例及び高萩市水道事業及び工業用水道事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	地方自治法の一部改正に伴い、条項の整理、文言の整理をするもの。	原案可決 (全員賛成)
議 案 第12号	高萩市特別職の職員で常勤のものとの給与及び旅費に関する条例の一部改正について	市長等の給与の削減期間を延長するもの。	原案可決 (賛成多数)

令和 2 年第 1 回定例会に提出された議案等

事件 番号	件 名	内 容	審議結果
議 案 第 13 号	高萩市建築確認申請等手数料条例の一部改正について	国の法律の一部改正に伴い、共同住宅の断熱性能の算出等について改正するもの。	原案可決 (全員賛成)
議 案 第 14 号	高萩市霊園使用条例の全部改正について	高萩霊園合葬式墓地を新たに整備したため、使用条例を全部改正するもの。	原案可決 (全員賛成)
議 案 第 15 号	高萩市営住宅管理条例の一部改正について	国の法律等の改正により、入居資格者要件等を見直すもの。	原案可決 (全員賛成)
議 案 第 16 号	高萩市建築基準条例の一部改正について	建築基準法施行令の一部改正に伴い、条項の整理をするもの。	原案可決 (全員賛成)
議 案 第 17 号	高萩市道路線の認定について	道路改良事業に伴い、市道路線の認定をするもの。	原案可決 (全員賛成)
議 案 第 18 号	高萩市道路線の変更について	道路改良事業に伴い、市道路線の変更をするもの。	原案可決 (全員賛成)
議 案 第 19 号	中戸川辺地総合整備計画の策定について	市道 104 号線整備のため、新たに総合整備計画を策定するもの。	原案可決 (全員賛成)
議 案 第 20 号	大能辺地総合整備計画の策定について	市道 213 号線及び 112 号線整備のため、新たに総合整備計画を策定するもの。	原案可決 (全員賛成)
議 案 第 21 号	上君田辺地総合整備計画の策定について	市道 103 号線及び 213 号線整備のため、新たに総合整備計画を策定するもの。	原案可決 (全員賛成)
議 案 第 22 号	横川辺地総合整備計画の策定について	林道小山線及びアウトドアフィールド施設整備のため、新たに総合整備計画を策定するもの。	原案可決 (全員賛成)
議 案 第 23 号	令和 2 年度高萩市一般会計予算	令和 2 年度当初予算 127 億 4,300 万円を定めるもの。	原案可決 (賛成多数)
議 案 第 24 号	令和 2 年度高萩市国民健康保険事業特別会計予算	令和 2 年度当初予算 28 億 3,700 万円を定めるもの。	原案可決 (賛成多数)
議 案 第 25 号	令和 2 年度高萩市後期高齢者医療事業特別会計予算	令和 2 年度当初予算 3 億 7,300 万円を定めるもの。	原案可決 (全員賛成)
議 案 第 26 号	令和 2 年度高萩市介護保険事業特別会計予算	令和 2 年度当初予算 28 億 300 万円を定めるもの。	原案可決 (全員賛成)
議 案 第 27 号	令和 2 年度高萩市霊園事業特別会計予算	令和 2 年度当初予算 850 万円を定めるもの。	原案可決 (全員賛成)
議 案 第 28 号	令和 2 年度高萩市水道事業会計予算	令和 2 年度当初予算 9 億 9,631 万 5 千円を定めるもの。	原案可決 (全員賛成)
議 案 第 29 号	令和 2 年度高萩市工業用水道事業会計予算	令和 2 年度当初予算 2 億 7,093 万 6 千円を定めるもの。	原案可決 (全員賛成)

議案質疑

報告第1号 専決処分の承認を求めることについて《令和元年度高萩市一般会計補正予算（第6号）》

坪和 久男 議員

質問 農林水産業施設災害復旧費、林業用施設災害復旧事業711万7000円の内容について、工事件数及び事業費について伺います。

産業建設部長 修理箇所につきましては1か所です。台風19号により被災した大字大能地内の林道大能米平線で、路肩が崩壊したことによります災害復旧工事費となります。



豪雨被災箇所（秋山地内）

質問 公共土木施設災害復旧費、道路橋梁災害復旧事業1億6843万2000円の内容について、事業件数及び事業費について伺います。

産業建設部長 台風19号及び10月25日豪雨により被災した市道5か所の災害復旧請負費となります。大字横川地内の3か所はいずれも道路の路肩が崩壊したものです。また、大字秋山地内の1か所は道路ののり面が崩壊したもの、大字赤浜地内の1か所は道路の路体が崩壊したものです。

議案第9号 高萩市職員採用試験委員会条例の制定について

平 正三 議員

質問 職員採用試験委員会委員は「三親等以内の親族の利害に係る事項に加わることができない。ただし、委員会の同意を得たときは、この限りでない」と定めているが、ただし書きを加えた理由について伺いたい。

総務部長 試験の日程や試験問題の種類、面接試験を個別にするか集団にするかなど、委員から意見を求め協議を行う部分もあるので、ただし書きを適用して協議事項に加わることができるものとしている。

質問 公平・中立の立場を貫くなら、ただし書きは廃止すべきである。

議案第15号 高萩市営住宅管理条例の一部改正について

平 正三 議員

質問 保証人条項を残した理由について伺いたい。

産業建設部長 入居者に住宅使用料の支払いを促すことが期待できる。しかしながら、保証人に代わる法人保証を選択できるように条例を改正している。

質問 法人保証の内容と条件について伺いたい。

産業建設部長 一般の保証会社7社の中から契約を結ぶこととなる。保証金の負担が発生し、ほとんどの希望者が活用できると考えている。



市営花貫住宅

討論

議案第23号 令和2年度高萩市一般会計予算について

反対討論 平 正三 議員

第一点は、防災行政無線整備事業に7749万5千円が予算化され、新たに屋外防災行政無線14局を設置することになっている。すでに、市街地に63局が設置されており、合計77局となる。

屋外防災行政無線は、非常に聞き取りにくいという市民の声が寄せられており、特に、豪雨災害時には屋内ではほとんど聞こえないという大きな欠陥がある。重大災害時の住民への情報伝達手段として戸別受信機又は防災ラジオの設置を進めるべきと考える。

第二点は、議員定数が16名から2名削減され、議員の給与費が約1580万円減額された。中学入学時の制服代無償化に必要な財源は約800万円から900万円であり、議員削減によって生み出された約1580万円の財源を活用して、中学入学時の制服代無償化の実施を求める。

委員会審査報告

総務産業委員会

3月17日、当委員会に付託された報告2件、議案15件、陳情1件の審査を行った。

○令和元年度高萩市一般会計補正予算（第7号）

問 プレミアム商品券の利用状況について。

答 対象者は低所得者や3歳未満子育て世帯5734人、そのうち住民税非課税対象者の申請者は1893人でした。対象者の諸事情によって購入申請が低迷したと思うが、今後は国の指導があれば検討してまいりたいと考えております。

○高萩市交通安全対策事業基金条例の制定について

問 基金の財源について。

答 高齢者の自主免許返納支援事業にかかる未使用分のタクシーチケット代について、基金に積立てを行うもの。平成29年度から令和元年度の交付済み額978万円、使用済み額約320万円、未使用額のうち650万円が基金となる。

○辺地総合整備計画の策定について

問 概要について。

答 中戸川地域（市道104号線）、大能地域（市道213・112号線）、上君田地域（市道103・213号線）、横川地域（林道小山線・アウトドアフィールド施設）の4つの辺地総合整備計画の共通の目的として、山間地域活性化及び新たな地域産業として山間地域の自然、歴史、文化に触れる通年での周遊、体験型観光推進のため、施設整備及び道路交通網を一体的に整備するもの。



高萩スカウトフィールドに通じる市道104号線道路拡幅整備事業

文教厚生委員会

3月16日、当委員会に付託された議案5件の審査を行った。

○令和元年度高萩市一般会計補正予算（第7号）

問 民生費、障害者自立支援経費2918万7000円の補正が行われた理由について伺う。

答 障害福祉サービス費等給付費492万5000円の増は、当初の見込みより利用者が増加したことにより、サービス費等給付費が増額となったものです。また、障害児通所費給付2426万2000円の増は、当初の見込みより放課後等デイサービス、児童発達支援などにおきまして、利用者及び利用回数が増加したために増額となっております。

○令和元年度高萩市国民健康保険事業特別会計補正予算（第3号）

問 国民健康保険支払準備基金5324万円を積み立てる目的と理由について伺う。

答 今回の補正は、主に歳入において国民健康保険税軽減対象世帯数の増等に伴い保険基盤安定繰入金3739万8000円増と

なったこと、及び茨城県から平成30年度退職被保険者等分国民健康保険事業費納付金にかかる決算剰余金について、市町村の実績に応じて精算の上返還されることになった1575万8000円を積み立てするものです。

問 今回、積み立てを行わなければならない理由について伺う。

答 国民健康保険支払準備基金への積み立ては、保険給付費等の5%に相当する1億円を目途に積み立てようとしています。今回につきましても、今後国民健康保険事業費納付金等の増に備え、被保険者の急激な負担増に対応するため積み立てを行うものです。



予算特別委員会

3月6日の本会議において当委員会に付託となった案件について3月18日、23日、24日に委員会を開催し審査を行いました。主な審査の内容は次の通りです。

○令和2年度高萩市一般会計予算
【総務産業委員会所管】
3月18日

問 社会保障・税番号制度関連負担金の内容について伺いたい。

答 マイナンバーカード作成等の事務、そのデータを管理するシステム整備に関しては、一括して地方共同法人地方公共団体情報システム機構が請け負っている業務です。市町村は人口規模に応じて、機構に負担金として支払っています。社会保障・税番号制度導入に関しては、特定の個人を識別するための番号、いわゆるマイナンバーを利用し、国民の利便性の向上、行政の効率化、公平公正な社会の実現



を目指すという3つの目的をもって実施するものです。

問 第6次高萩市総合計画・第2次高萩市創生総合戦略策定経費であるが、この進め方について伺いたい。

答 本事業は、令和元年度から2年度の2か年の継続費により取り組んでいます。令和2年度は、総合計画、創生総合戦略の計画策定業務を予定しています。策定の進め方としては、総合計画及び創生総合戦略は相互に関連した計画であることから、同時並行で作業を進めたいと考えています。

問 高萩アウトドアフィールド事業経費について、交流人口を増やすと明記されているが、今年度の利用者数の実績、また、来年度の利用者数の目標を伺いたい。

答 今年度の利用実績として、7月13日に「はぎビレッジ」をオープンし、2月末までで941人の方に利用いただきました。目標を1000人としていましたが、台風や大雨等によるキャンセルもあり、若干目標には届きませんでした。令和2年度については、1200人と目標設定をしています。また、新たなアクティビティとして、熱気球の搭乗体験を計画し、1440人の利用を見込んでいます。

【文教厚生委員会所管】
3月23日

問 母子健康手帳アプリ運用委託に関して、これを利用し、行政から対象市民にどんな情報発信をしていく体制づくりができたと思う。具体的な運用開始時期、また、周知の方法等を聞きたい。

答 運用開始は5月からとなり、4月から5月はデータ等を取り込む準備期間となります。また、周知方法としては、チラシを作成し、妊娠届、幼児健診、赤ちゃん訪問時等に個別に行うというような形を考えています。



問 ヤング・アメリカンズ派遣事業経費について、派遣人数が10名とあるが、どのように派遣児童を決めていくのか。

答 各学校何名という形ではなく、市内で10名ということ、各

請願・陳情の審議結果

件名	結果
福平地区防火水槽新設に関する陳情	継続審査

学校2、3名を想定して予算計上をしました。5・6年生の全児童に募集をかけ、各学校から集まった希望者を実行委員会に取りまとめ、その中から10名を選出していく形となります。また、研修の成果を各学校に発信してもらうため、各学校最低1、2名の参加はさせたいと考えています。



八木陽子 議員

新型コロナウイルス対策について

質問 市の対策について伺います。

市民生活部長 新型コロナウイルス感染症対策本部を設置し、危機対策課を中心に、各課の役割を徹底しました。市主催のイベントについては、感染拡大を防ぐため中止や延期を協議し、対策を実行しております。市民への情報提供として、市報お知らせ版臨時号を新聞折り込みや市施設等の窓口配布し、感染の注意喚起を行っています。また、小・中学校等の臨時休校、放課後児童クラブの受け入れと利用状況の確認を行い、児童登録数の58・9%が利用しています。マスクについては希望する医療施設、介護施設等約100施設に配布し、従事者の感染拡大防止に努めています。

質問 PCR検査の健康保険適用時の自己負担について伺います。

健康福祉部長 PCR検査は保険適用となり、自己負担分は公費で補助し、無償です。

質問 日立医療圏において、受診、入院はどのようなになっていますか。

健康福祉部長 風邪の症状や37.5度以上の熱が4日以上続く場合、強いだるさや息苦しさがある場合は日立保健所に設置されている帰国者・接触者相談センターに連絡し、所定の病院を紹介していただき受診します。入院については感染症指定医療機関や協力医療機関を合わせて、県内では34病院、200床程度が確保できているとのこと。受診、入院できる病院は、診療体制に支障をきたすことから公表されていません。



観光振興計画について

質問 観光計画は目的があり、計画があつて結果が求められると思います。しかしながら、計画の中に、経済効果の目標額が明記されていないのはなぜか。

産業建設部長 経済効果の算出は行っておりません。成果指標といまして、目標値を入り込み客数としていこうとします。

質問 観光事業は収益事業です。当然経済効果を期待して事業を行う。目標額はあるべきではないか。

産業建設部長 県が公表する観光消費額で算出すると、平成30年度の花貫溪谷の紅葉まつり期間に入り込み客数7万3400人、経済効果は2億8985万円。海水浴場は入り込み客数7300人、経済効果は2882万円となります。

質問 花貫溪谷の場合、平成30年度は年50万円投資して、県の公表している算出方法によると、年2億8000万円。この計算が当たっているかは別として、海水浴場には年650万円投資している。海水浴場を開設して今日まで2億円の税金投資している。しかし、市民にはいったい何を残したのか。650万円の税金を生み出すのには8000万円から9000万円の経済効果がないと税金の回収は出来ない。観光事業は収益事業であることを改めて考えて進めていただきたい。



寺岡七郎 議員

花貫溪谷紅葉まつり



紅葉まつり期間中の駐車場

市長 高萩には花貫溪谷と白砂青松の海岸があります。一般、仮称・北沢トンネルが開通し、日光、栃木方面からの観光客に期待しております。今後、費用対効果もよく考えて進めていきたいと思えます。

その他の質問

○企業誘致について



坪和久男 議員

赤浜海岸堤防崩落箇所への復旧及び堤防のかさ上げ等について

質問 赤浜海岸は、東日本大震災後に堤防が沈下し、その後は台風等の高波が発生すると波が堤防を越え、農地に流れ込むことが多くなりました。平成28年には、赤浜海岸堤防のかさ上げに関する陳情が提出、採択されましたが、かさ上げは進んでいません。そのような中、昨年9月から10月の台風直撃により、堤防の一部が崩落してしまいました。市長は現地を視察され、今後の対応をどのように考えているのか伺います。

市長 赤浜海岸の堤防のかさ上げにつきましては、津波や高潮から赤浜地区住民の方々の生命財産を守るためにも、施設管理者である茨城県が早急に実施すべきであると考えております。市といたしましては、来年度策定予定の高萩市国土強靱化地域計画の中に位置づけるとともに、茨城県国土強靱化地域計画への位置づけや事業の早期実現について、国や茨城県に対し強く要望して働きかけを続けてまいります。



赤浜海岸 堤防崩落箇所



中山家墓地（上手網赤塚）

歴史的観光資源の有効活用について

質問 松岡地区の歴史的観光資源が、一部活用しきれていないと思われるので今後の活用を伺います。

産業建設部長 歴史産業遺産周遊事業において丹生神社や穂積家住宅など竜子山城跡周辺を周遊するコースの設定及びマップ作成を新年度に予定しているところです。

質問 中山家墓地を歴史的観光資源として活用するため、市の指定史跡とする必要があると考えます。

教育部長 文化財指定につきましては、所有者の方から申請があった時点で判断してまいります。



平 正三 議員

国保問題について

質問 県北9市町村で、資産割を賦課していないのは日立市、那珂市、ひたちなか市、東海村の4市村で、資産割をなくす市町村が増えている。国保の資産割の賦課について伺いたい。

市長 令和2年度は3年ごとの国保税の見直しになっており、県内市町村の動向を注視しながら、賦課方式を慎重に検討していきたい。

質問 均等割は子供が増えるほど負担が重くなり、子育て支援の強化を図るため子供の均等割の減免について伺いたい。

市長 全国市長会が国に対して子供の均等割の軽減制度の創設を強く要望している。市独自の導入には慎重に検討していきたい。

デマンド型乗り合いタクシーと高齢者タクシー券支給について

質問 市内全体でデマンド型乗り合いタクシーを実施する考えがあるのか伺いたい。

企画部長 市内全域での導入は大変難しいと考えている。

質問 高齢者タクシー券支給について伺いたい。

市長 他の公共交通施策の取り組み状況を踏まえながら、引き続き検討していきたい。

公共施設等管理計画について

質問 市民体育館、図書館、文化会館の統合はなされない。老朽化している市民体育館の建て替えを行うべきと考えるが伺いたい。

市長 3施設を合わせた複合施設として建て替えていきたい。

市道1351号線（山王児童公園東側）の側溝について

質問 側溝が老朽化し、住民から側溝整備と蓋掛けの要望が寄せられている。対応について伺いたい。

産業建設部長 改修計画を策定し、計画的に工事を実施していきたい。



市道 1351 号線
(本町山王児童公園東側)



大足光司 議員

まちづくりについて

質問 高萩駅西口駅前広場整備に関する調査や検証等はどのように行われてきたのか。

企画部長 課題となっている朝夕のロータリー付近の渋滞解消等を検討しました。報告書概要版を市ホームページに掲載し、市民意見を3月末までに取りまとめるほか、市街地活性化の取り組みについては、先進地を視察し、資源を生かした体験事業や市営駐車場等で得た財源を元に空き店舗の活用事業を調査しました。市民が核となる積極的な取り組みや地域の人材発掘、育成が重要であると感じました。

質問 災害時の中小企業・自営業等への支援や対応については。

産業建設部長 今回の新型コロナウイルス対策や災害支援について、令和2年3月2日の経済産業省の発表では、5000億円規模で設備投資、販路開拓支援、相談窓口の設置などによる経営環境の整備支援が行われています。また、経営の安定に支障が生じている中小企業者に対しては、一般保証とは別枠の保証による資金繰りを行



う支援があります。

さらに、雇用調整助成金の対象を拡大する特例措置も行われており、事業活動の縮小を余儀なくされた事業主が労働者に対して一時的に休業などを行い、労働者の雇用維持を図った場合、休業手当や賃金等の一部の助成がされることとなります。市でも国、県の動向を注視し、必要な支援が行えるよう、情報提供に努め、対策を講じてまいります。



今川敏宏 議員

ジェンダーについて

質問 ジェンダー問題というのは、個人個人、一人一人の人権・権利を最大限に尊重していこうという考えに基づいていると思います。現在においての課題を伺います。

企画部長 本市では4つの基本目標に基づいて業務を進めておりますが、まだ目標までは達成できていない状況です。

蓄電池について

質問 蓄電池は一般家庭においては、自立・分散型エネルギー設備として普及してきました。そして災害時の避難所などの非常用電源としても活用が可能です。こうしたことから県内各地で家庭用蓄電池設置補助制度を実施してきていますが、高萩市での補助制度の導入・創設について見解を伺います。

市民生活部長 災害時の蓄電池の活用については非常に有効であると認識し、現在10施設に設置しています。一般家庭の蓄電池設置補助事業の実施につきましては、今後の需要等の変化を見極めつつ調査研究してまいりたいと考えています。

農業支援について

質問 食料品の自給率を上げるため、農業従事者だけではなく、家庭菜園等への支援について見解を伺います。

産業建設部長 家庭菜園等の小規模な農業に取り組みたい方につきましては、市が無償で貸し出している市民農園を利用いただいているところです。



さくら宇宙公園



岩倉幹良 議員

一般廃棄物処理施設整備について

質問 施設の建設場所、規模及び事業費等について。

市民生活部長 建設地は北茨城市の中郷町小野矢指地内、高萩市の市境付近の山林で、敷地面積は5万5232㎡です。規模としては、1日当たり80トンの24時間連続運転とし、総事業費は131億円、そのうち国からの補助金等約100億円が見込まれ、施設建設に係る負担金は高萩市が37%、北茨城市が63%としております。



一般廃棄物処理施設建設計画地

コミュニティFM放送について

質問 NPOたかはぎFMでは平成27年度から30年度の4年間の累積赤字が256万円となっているが、市はこれをどのように捉えているのか。

企画部長 NPOたかはぎFMは、自主運営を目指して収支計画を策定しており、市はその計画に基づいて補助金支援を行ってきました。会員獲得や収益事業が計画通りに進まず、赤字が累積しているものと認識しています。

質問 本年10月末日をもって無線局免許の更新となるが、累積赤字の件も含めて今後どのように指導監督をしていくのか。

企画部長 団体の運営が安定するまでの間、人件費やその他放送に係る経費等について支援を行ってきました。しかし、赤字が累積している状況が続いているので、赤字の早期解消と自主財源の確保に努めるよう指導していきます。

その他の質問

○「市民主役のまちづくり」基本理念について



菊地正芳 議員

防災行政について

質問 防災情報流通ネットワークの情報を共有し活用すべきと思うが見解を伺う。

市民生活部長 現在、茨城県防災情報ネットワークシステムにより災害情報の収集、伝達を行っておりますが活用を研究して参ります。

質問 ドローンの消防本部等への配備も有効と考えるが見解を伺う。

消防長 今後は迅速な情報収集等ができるよう、消防本部への配備について検討して参ります。

質問 スマートフォン等を活用して、災害時応援協定を結んでいる団体との情報共有するシステムの導入も有効と考えるが見解を伺う。

市民生活部長 応援協定団体とは、災害時にいつでも連絡できる体制を整備しております。また、災害時における連携の強化を平時から構築しております。

質問 茨城県防災士会への登録推進と費用の助成をすべきと思うが見解を伺う。

市民生活部長 防災士取得者に対してアンケート調査を行うなど費用の助成をすべきと思うが見解を伺う。

用の助成の必要性について、慎重に判断して参ります。
質問 仮称・高萩市防災士会を設立するという考えについて伺う。
市民生活部長 調査・研究して参ります。
質問 自主防災組織における女性団員、防災士を増やすべきと思うが見解を伺う。
市民生活部長 女性ならではの視点を取り込み防災対策を進める事は、大変重要であるため自主防災組織への女性の参画を推進して参ります。



その他の質問

○福祉行政について



吉川道隆 議員

スカウトフィールドの活用について

質問 広くて設備の整った素晴らしい施設、今までの利用状況は。

教育部長 今年度は大和の森口笛コンサートや親子キャンプなど市関連のもの、市スポーツ少年団加盟団体や地域おこし協力隊によるものなど3669人。

質問 キャンプ場検索サイトなどには登録されていない。出かける時、ネットで検索することが多い。ボーイスカウト連盟に働きかけてそういうサイトに掲載したほうがよいと思うがどうか。



トイレ棟・シャワー棟

市長 ボーイスカウト連盟は民間の団体なので市として自由に紹介することは出来ないが、PRについて今年からは、ボーイスカウト連盟からの申し出もあり、より広報出来るよう協議していきたい。

質問 更に広く活用してもらうために、子供向けの体験事業を企画する団体に使ってもらうことも出来る。そういった団体に売込みをしてはどうか。また、広い敷地を有効に、施設を充実させるために「サスケ」のようなアスレチックコースを作ってはどうか。

市長 これから道路環境も含め、高萩に人を呼ぶ起爆剤となるようにどんな民間委託・官民共同の観光誘客に進めていきたい。

質問 スカウトフィールドを始め、小山ダムのハギビレッジ、君田のユーフィールド、花貫の各施設をすべて絡めて高萩の観光業として発展できればと考えている。周辺道路の拡張は5年10年かかるだろうが、案内板など初めて来た方にわかりやすい親切な街づくりをお願いしたい。



スカウトホール
(屋根付き集会場)

その他の質問

○グリーンタウンてつな空き地利用について

タブレット議会推進協議会

3月13日の本会議において、議員提案により「タブレット議会推進協議会」の設置について可決しました。

パソコンやスマートフォンとともに、情報ツールであるタブレット端末は、いろいろな分野で利用が進んでおり、議会運営においてもペーパーレス化を図ることも、情報伝達の迅速化、効率化を図るため、導入を検討することになりました。

協議会は、5人の議員で構成します。

会長 菊地 正芳
副会長 大足 光司
委員 今川 敏宏
吉川 道隆
坪和 久男



議会日誌

- | | | | |
|-----|----------------------|-------|----------------------|
| 21日 | 議会広報委員会 | 6月25日 | 第1回定例会 |
| 15日 | 議会広報委員会 | 27日 | 議会全員協議会 |
| 4月 | | 26日 | 議会運営委員会 |
| 27日 | 第1回高萩・北茨城広域事務組合議会定例会 | 25日 | 第1回日立・高萩広域下水道組合議会定例会 |
| 25日 | 議会広報委員会 | 21日 | 議会全員協議会 |
| 6日 | 文教厚生委員会
(現地調査) | 7日 | 茨城県市議会議長会第2回議員研修会 |
| 2月 | | 25日 | 第1回日立・高萩広域下水道組合議会定例会 |

市民の声



島名 在住 S・T さん(男性)

私は高萩市に住んで46年になります。今年六巡目の子年を迎えた団塊の世代です。以前にも寄稿されていましたが、私も高萩は気候も温暖で自然豊かで住みやすいまちと実感しています。

しかし、私の住む地域を含め高齢化が一層進んでおり将来の福祉、生活に不安を抱えているのは私だけではないと思います。

現在、子供達も巣立ち、家内と二人で駅から4km程山手にある地域で生活しています。日常生活、日用品の買い物に車を使用し、生活には欠かせない足となっています。先日知り合いの方とお話する機会がありました。その方から、「車の運転免許証返納に伴い支給されたタクシー券を利用し、買い物や通院をしている。活動範囲が非常

に狭くなり外出する機会も減り、家に閉じこもる日が多くなった」との話を伺いました。近い将来の自分の姿と受け止めました。

「遠くの親戚より近くの他人」の諺ではありませんが、皆さんでお互いを支え合う仕組みがあり、活力ある老後を過ごしている地域であってほしいと思います。

高萩市の議会を直接傍聴する機会は少ないのですが、「議会だより」で審議内容を知ることが出来ます。是非議会報告会を巡回で開催いただき、多くの市民の生の声をお聞きいただきたいと思います。

今、世界を震撼させている「新型コロナウイルス感染症」を、全国民の力で終息させることを願っています。

傍聴においでください

令和2年第2回定例会(6月)予定

- 5日(金) 本会議 議案上程
- 8日(月) 本会議 一般質問
- 9日(火) 本会議 一般質問
- 11日(木) 本会議 議案質疑
- 12日(金) 文教厚生委員会
- 15日(月) 総務産業委員会
- 17日(水) 本会議 採決

※開会中においても日程等が変更になることがあります。

インターネット・FMでの放送予定



	インターネット	FM
本会議	市ホームページ (携帯・タブレット可)	○
総務産業委員会 文教厚生委員会	ユーチューブ	○

市のホームページは「高萩市議会」からお入りください。

委員会のインターネット放送は、無料で利用できる動画配信サイトのユーチューブを利用しています。使用環境によっては、視聴できない場合があります。

○FM放送は、全てたかはぎFMです。

※本会議については、これまでの録画もご覧いただけます。

議会広報委員会

- | | |
|------|-------|
| 委員長 | 我妻 康伸 |
| 副委員長 | 渡辺 悦夫 |
| 委員 | 田所 和雄 |
| | 八木 陽子 |
| | 飯田 毅昭 |
| | 岩倉 幹良 |
| | 坪和 久男 |

今定例会は、新型コロナウイルス予防対策としてマスク着用で行いました。会期中の17日には県内初の感染者が確認され、一か月後には131人にまで感染が拡大しました。4月16日には全国に緊急事態宣言が発令され、5月6日まで、外出自粛をはじめ様々な行動が制約されています。市民の皆様も密閉、密接の「3密」を避け、マスク着用等堅実な行動をされています。議会におきましても、行政と共に、市内へのコロナウイルス感染拡大を予防し、市民の皆様の健康と暮らしを守るよう取り組んで参ります。
(田所 和雄 記)